

Disclosure 2023

城南信用金庫の 経営内容について

2023年度上半期

(2023年4月1日から9月30日までの6ヵ月間)



私たちはお客様応援企業として、
地域の皆様の幸せを守り、地域社会の発展、繁栄に貢献します

当金庫の概要 (2023年9月末現在)

設立/ 1945年8月 会員/ 259,870名 出資総額/ 462億円 従業員/ 2,036名
本店/ 東京都品川区西五反田7-2-3
店舗/ 86店 (うち有人出張所2・インターネット支店1)



城南信用金庫

業績について

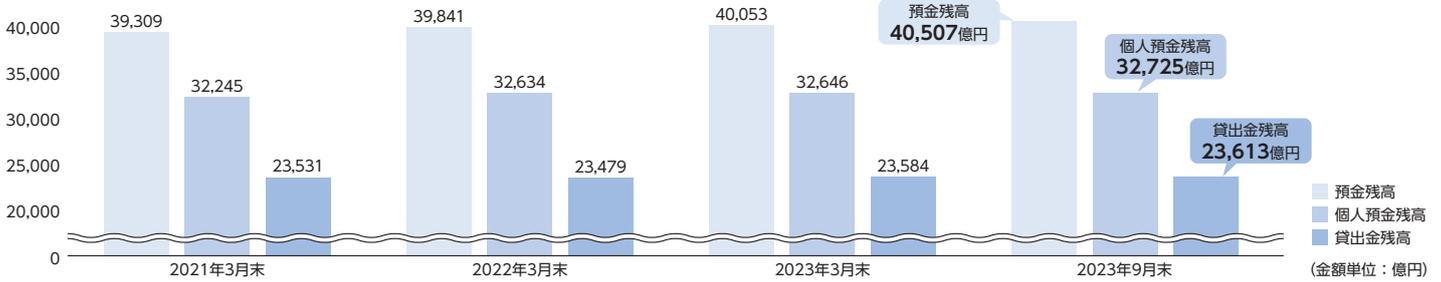
預金

預金については、この半年間で454億円増加し、残高は4兆507億円となりました。

また、地域のお客様からの信頼、信用のバロメーターともいべき個人預金については、3兆2,725億円となりました。

貸出金

貸出金については、お客様のお役に立つ融資の推進に取組んだ結果、残高は2兆3,613億円となりました。



収益について

収益については、本業からの利益である業務純益は45億59百万円、経常利益は48億22百万円、当期純利益は33億31百万円となりました。



自己資本比率について

2023年9月末の当金庫の自己資本比率は10.59%となり、国内基準である4%の2倍以上であり、当金庫の経営の健全性がわかりいただけると思います。

$$\text{自己資本比率} = \frac{1,841 \text{ 億円 (自己資本の額*)}}{1 \text{ 兆 } 7,388 \text{ 億円 (信用リスク・アセット+オペレーショナルリスク)}} \times 100 = 10.59\%$$

※コア資本に係る基礎項目の額-コア資本に係る調整項目の額

有価証券の状況について

2023年9月末における有価証券の保有状況は次の通りです。

◆売買目的有価証券、満期保有目的の債券

該当ありません。

◆その他有価証券で時価のあるもの

(金額単位：百万円)

| | 帳簿価額 | 時価 | 評価差額 |
|--------|---------|---------|---------|
| 株式 | 87 | 231 | 144 |
| 債券・その他 | 504,681 | 476,733 | △27,947 |
| 合計 | 504,769 | 476,965 | △27,803 |

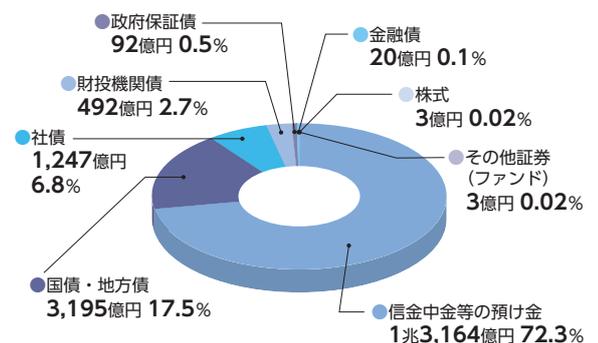
※評価差額は、市場金利の上昇による影響を受けていますが、右図の通り、国債や地方債など、国内債券の金利上昇によるものであり、リスクの高い外国債や投資信託など、その他に含まれる有価証券の影響ではございません。

◆市場価格のない株式等及び組合出資金

| | |
|----------------|--------|
| その他有価証券(非上場株式) | 189百万円 |
| 子会社・子法人等株式 | 30百万円 |
| 組合出資金 | 323百万円 |

余裕資金の運用について

貸出金以外の運用については、信金中央金庫の定期預金等の預け金が全体の72.3%を占め、その他は、国債・地方債が17.5%、国内優良企業の社債が6.8%等、安全性と流動性の高い債券がほとんどであり、株式はわずか0.02%しかなく、リスクの少ない、安全な運用に徹しています。



債務者区分別貸出先数・貸出金残高等、分類貸出金

当金庫では、全貸出先について自己査定を実施していますが、自己査定にあたっては、まず債務者の財務や経営実態に応じて、正常先から破綻先までの5段階に債務者区分を行います。その結果が次の「債務者区分別貸出先数・貸出金残高等」です。

◆債務者区分別貸出先数・貸出金残高等

(金額単位：億円)

| | | 先数 | 金額(構成比) |
|--------------------------------------|---|--------|-----------------|
| 正常先 | 業況が良好で、財務内容にも問題のない先 | 44,198 | 15,936 (67.5%) |
| 要注意先 | 今後の管理に注意を要する先 | 7,753 | 6,841 (29.0%) |
| 内訳A | 貸出条件緩和債権がなく、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先 | 7,719 | 6,726 (28.5%) |
| | B 貸出条件緩和債権があり、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先 | 26 | 75 (0.3%) |
| | C 期限経過・延滞が1ヵ月以上3ヵ月未満の先、ならびに要管理先のうち、無保全額が多額で、将来においてリスクの発生する可能性が高く、個別に引当を行うことが望ましい先 | 8 | 39 (0.2%) |
| 破綻懸念先 | 事業は継続しているものの、今後、経営破綻に陥る可能性がある先 | 1,596 | 689 (2.9%) |
| 実質破綻先 | 実質的に経営破綻の状況に陥っている先 | 204 | 51 (0.2%) |
| 破綻先 | 法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先 | 77 | 21 (0.1%) |
| 国・地方公共団体(回収について危険性がなく、債務者区分を行っていません) | | 2 | 74 (0.3%) |
| 合計 | | 53,830 | 23,615 (100.0%) |

次に、債務者区分毎に、担保・保証等による債権回収の可能性を精査して、貸出金をI(非)分類からIV分類までの4つのランクに分類します。その結果が次の「分類貸出金」です。

◆分類貸出金

(金額単位：億円)

| | 金額(構成比) | 償却・引当予定額 |
|-------------------------|-----------------|----------|
| I(非)分類 回収について問題のない貸出金 | 18,784 (79.5%) | |
| II分類 回収について注意を要する貸出金 | 4,826 (20.4%) | |
| III分類 回収について重大な懸念がある貸出金 | 0.4 (0.0%) | 0.4 |
| IV分類 回収不能と判定される貸出金 | 4 (0.0%) | 4 |
| 合計 | 23,615 (100.0%) | 4 |

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

※2022年度以前に引当てした貸出金はI(非)分類となっています。

※III分類、IV分類の貸出金は2023年4月1日から2023年9月末までに発生したものを計上しています。

2023年9月末現在、III分類、IV分類の貸出金は合計4億円ありますが、これについては、決算時に全て償却・引当処理し、当金庫の不良債権は実質ゼロとなる見込みです。

なお、分類貸出金については、法律で開示が義務付けられていないため、開示していない金融機関がありますが、当金庫は、経営内容をガラス張りにして開示する観点から自主的に開示しています。

信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分

「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」は次の通りです。このうち、「危険債権」と「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の無保全額については、引続き回収に鋭意取組んでまいりますが、万一、年度末までに回収できない場合は、決算時に全て償却・引当処理する見込みです。

(金額単位：億円)

| | 金額(構成比) | うち無保全額 | 償却・引当予定額 |
|-------------------|-----------------|------------|----------|
| 正常債権 | 22,778 (96.4%) | | |
| 要管理債権 | 87 (0.4%) | | |
| | 3ヵ月以上延滞債権 | - (-%) | |
| | 貸出条件緩和債権 | 87 (0.4%) | |
| 危険債権 | 690 (2.9%) | 0.4 | 0.4 |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 73 (0.3%) | 4 | 4 |
| 合計 | 23,628 (100.0%) | 4 | 4 |

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

※「金額(構成比)」は、単位未満を四捨五入しています。

※預金担保貸出金は、要管理債権には該当しないため、要管理債権から除外しています。

(注)各計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

「人手不足対策セミナー＆相談会」を開催しました

当金庫は、2023年9月29日(金)、「よい仕事おこしプラザ」にて、事業を営むお客様向けに、人手不足に関するお悩みにお応えする「人手不足対策セミナー＆相談会」を開催しました。

東京働き方改革推進支援センター・株式会社船井総合研究所・ポスタス株式会社・株式会社助太刀から講師をお招きし、建設業・運輸業・飲食業を中心とした事業者に向けて、人手不足への対応や中小企業が取るべき採用戦略に関して、具体例を交えた解説が行われました。セミナー終了後には各講師との個別相談会を開催し、お客様にとって、人手不足という経営課題についてご検討いただく機会となりました。

本セミナー＆相談会は、ご来場とオンラインの同時開催とし、あわせて28社が参加されました。



「第12回城南CUP」「第9回城南ガールズCUP」が開幕しました

当金庫では、城南地区(大田区、品川区、世田谷区、目黒区)の少年軟式野球チームが他区のチームと交流戦を行うことで、地域社会の未来を担うこどもたちに夢や希望を持ってもらうことを願い、毎年「城南CUP」を開催しています。

2023年10月7日(土)、「第12回城南CUP」が開幕しました。各区の代表に昨年の優勝・準優勝チームを加えた18チームが優勝をめざしてトーナメント戦を繰り広げます。また、期間中には、女子の各区の代表4チームによる「城南ガールズCUP」も開催されます。試合日程や結果については、随時、当金庫ホームページに掲載してまいります。



「グレートカンパニー大賞」を受賞しました

当金庫は、株式会社船井総合研究所が主催する「グレートカンパニーアワード2023」において、最高賞である「グレートカンパニー大賞」を受賞しました。

同賞は、コンサルティングファームである株式会社船井総合研究所が約5,300社の選考対象から社会的に意義のある活動を行う企業を選出するもので、信用金庫としては当金庫が初の受賞となります。

当金庫では、「困っている人を助けることが信用金庫の使命」を合言葉に、東北地方の産業復興への支援や、全国の信用金庫をネットワークで繋ぐ取組み、コロナ禍で大きな打撃を受けた飲食店への支援などを継続的に行っており、こうした活動に対し高い評価をいただきました。



※城南信用金庫の公式YouTubeチャンネルでは、大賞受賞企業紹介動画(制作：株式会社船井総合研究所)をご覧ください。



城南信用金庫

〒141-8710 東京都品川区西五反田7-2-3
TEL. 03(3493)8111(代表) <https://www.jsbank.co.jp>

